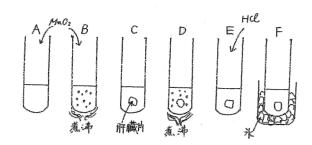
摂南大学理工学部(生命科学科)添削解答(2回目)

- 次のような実験をおこなった。以下の問いに答えなさい。
 - (実験1)試験管A~Fにそれぞれ3%の過酸化水素水(H_2O_2)を5mlずつ入れ、Eにはさらに5% の塩酸 (HC1) を 2 ml 入れた。
 - (実験2) A、Bには0.5gの二酸化マンガン (MnO₂)を入れ、Bは煮沸した。
 - (実験3) C, D, E, Fには1gの肝臓片を入れ、Dは煮沸し、Fは食塩を入れた氷で冷やした。 (☆二酸化マンガンは、過酸化水素水を水と酸素に分解する触媒としてはたらく)



(1) このとき発生する気体は何ですか。

]

(2) 肝臓片に含まれている、二酸化マンガンと同じはたらきをする酵素は何ですか。

カタラーゼ]

(3) 煮沸した試験管B, Dでは、反応に異なる結果が表れた。その結果と理由を述べよ。

「結果 Bからは気体が発生したが、Dからは気体が発生しなかった。

]

〔理由 Dの肝臓片に含まれる酵素はタンパク質なので、

煮沸することにより変性し、はたらきを失ったから〕

(4) 試験管DとFをしばらく放置して常温にし、再び過酸化水素水を加えると、反応に異なる結果 が出た。その結果と理由を述べよ。

Dからは気体が発生しなかったが、Fからは気体が発生した。 「結果

]

〔理由 Dのように熱を加えた酵素は変性してはたらきを失うが、

Fは常温に戻すことにより、再び酵素が活性化したから。

(5) 試験管Cに過酸化水素水を加え、反応が終了すると、再び過酸化水素水を加える。それを 100 回繰り返した。100回目では反応のようすはどのようになると考えられますか。簡潔に答えなさ V,

[最初と同様に気体が発生する

(6) この実験でおこった反応を化学反応式で書きなさい。

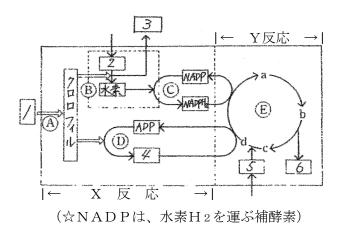
 $[2 H₂O₂ \rightarrow 2 H₂O + O₂]$]

	生体内	可では常り	こいろい	ろな化学	学変化が	おこって	いる。こ	の現象	を (1) といい、	これにと
£	ない	(2) の	移動や変	で化がみ	られる。	生物は外	界から	吸収した	と簡単な	物質から	複雑な物質
を	合成し	ている。	このは	たらきを	<u> </u>	3)	という。	また逆	に体内で	では複雑	能な物質を	簡単な物質
に	分解し	ている。	このは	たらきを	٤ (4)	という。					
	たとえ	とば、緑色	色植物は	、水や二	二酸化炭	素のよう	な無機物	勿を原料	おとして	(⑤) 3	エネルギー
を	利用し	ブドウ料	糖などの	有機物を	と合成し	ている。	また、あ	らゆる	生物は、	ブドウ	糖などの	有機物を水
と	((6)	に分解	し、その	つ時に発	生するエ	ネルギー	を生命	活動に和	利用して	こいる。	
	(1)	次の文	中の() にあ	てはまる	ものを次	なから選	び記号で	で答えた	?さい。	
		(ア)	(ア) エネルギー				(ウ) 二酸化炭素			(工)酸素		
		(才)	水素		(カ)代	謝	(キ)	異化		(ク)	光合成	
		(ケ)	同化		(コ) 呼	吸	(サ)	光		(シ)	化学	
		(1)	カ		(2)	ア		(3))		
		(4)	キ)	(5)	サ)	(6)	ウ)		
	-,		式名称を		- 0	[1	AΤΡ) [アラ	デノシン	/三リン酸)
3	好気	呼吸につ	ついて下の	り問いに	答えなる	さい。						
	(1)	次の式は	は、1モ	ルのブー	ヾウ糖が	、好気呼	吸により	分解さ	れる化学	学反応式	こである。	
		() に適	当な化学	学式を係数	数も入れ	て完成さ	させなさ	い。		
		C 6 H 12	O 6 +	(1) 6	6 O ₂) +	6 H 2 O	\longrightarrow	(2) 6	CO_2) + 1	12H 2 O
	カ	³。(ヒン 2炭素1 [°]	ト…ブト モルは 44 44×6×	ジカ糖1 1g。)								は何gです する。二酸
			180	.)								
	(2)		105.6(g 味ぶ <i>む</i> を	-	トーマヰ	・ムゖハヸ	タナムチリ	4 0	000=	化事で気	沸せかせ	八部テンル
												分解され エル公解に
			_			てノレリノ作	·作りは 4 0	V C 9 6	ე∘ (ლ ^	/ r···/	トソ悟1、	モル分解に
	4		費される 80×28	政ポは() ~ <i>[V]</i>							
			$\frac{180\times28}{25\times6}$									

2 次の文を読んで、以下の問いに答えなさい。

=33.6 (g)

下図は、緑色植物の光合成のしくみを模式的に表したものである。以下の問いに答えなさい。



(1) Xの反応と、Yの反応は、それぞれ葉緑体の何という部分でおこなわれますか。

〔X… チラコイド 〕 〔Y… ストロマ

- (2) 図中の $1 \sim 6$ にあてはまるものを (ア) \sim (ク) から選び記号で答えなさい。

- (ア) 二酸化炭素 (イ) 水 (ウ) 酸素 (エ) 化学エネルギー
- (才) 水素
- (カ)ブドウ糖 (キ)光エネルギー (ク)ATP

[1, +][2, -][3, -][4, -][5, -][6, -][6, -]

- (3) 図中の $A \sim E$ の化学反応にあてはまるものを、 $(r) \sim (r)$ から選び記号で答えなさい。
 - (ア) 還元反応と糖の合成
- (イ) 光エネルギーによる水の分解
- (ウ) 色素による光エネルギーの吸収
- (エ) 水素の伝達
- (オ) 光エネルギーによるATPの合成

 $[A, \dot{P}][B, \dot{A}][C, \boldsymbol{\Xi}][D, \dot{A}][E, \boldsymbol{Z}]$

(4) 図中のEの反応過程の名称を答えなさい。

[カルビン・ベンソン回路]

